



木の实谷

上越市立吉川中学校
学校だより「第1号」
令和6年4月16日発行

教育目標 「向上心に燃え 心身ともにたくましく 実践力のある生徒」

入学式 歓迎と激励の言葉

校長 櫻井 直人



二十一名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。呼名に応えた皆さん一人一人の返事は、力強く、中学校生活への期待と決意が表れていました。みなさんは今日から吉川中学校の一員です。在校生・教職員は皆さんの入学を心から歓迎します。

新入生のみなさんの心の中は、今、どのような気持ちでしょうか。わくわくするような期待感、ときどきするような不安感が入り混じっている気持ちでしょうか。それでいいのです。

人は新しいことを始めるとき、そのような気持ちになるのが当然です。後ろに座っている二・三年生も入学式では同じ気持ちだったと思います。

そんな新入生の皆さんに、私から二つのことをお話しいたします。

一つ目は「命・健康を大切にしましょう」

命はなぜ大切なのか。その理由はなんでしょうか。それは、あなた方一人一人がこの社会に、そして未来に必要なだからなのです。「えー、私なんて何の取柄もないし、必要としている人なんていないよ」と思っている人がもしいたら、そんなことはありません。将来、五年後、十年後、二十年後、必ずこの社会に必要なになるのです。もちろん、今だって皆さん一人一人は家族、友達にとってかけがえのない存在ですが、中学生の将来の可能性は無限大です。

命・健康を大切にしましょう。なぜなら、一人一人が必要な存在だからです。

二つ目は「コミュニケーションをとりましょう」

コミュニケーションというと、「あいさつ」が思いつきますが、こちらは先輩たちを見てください。素晴らしいあいさつをしてくれます。新入生のみなさんも、すぐ同じあいさつができるようになるでしょう。

私がお話するのは、皆さんが困ったときにどうするかです。学習や部活動、友達つきあいなどで、困ったり悩んだりすることが必ずあります。一生懸命生きていけば当然です。それを解決するときどうするか。もちろん一人で解決できるときもあると思いますが、早い解決、よりよい解決をしたいなら相談することが一番です。友達に「ねえ、聞いてくれる」、親に「実はさあ」、先生に「お話があります」とぜひ解決の扉をたたいてください。特に、学級担任の先生は、みなさんの最大の味方です。忘れないでください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。凛とした制服姿に感慨もひとしおのことと存じます。私たち教職員一同、生徒一人一人に寄り添い、愛情と情熱をもって全力で子どもたちを支援してまいります。地域の宝であり、かけがえのない財産である子どもたちを学校、家庭、地域で見守り、育てていくため、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

入学式 入学の言葉

新入生代表 女子生徒

今日は、私たちのために入学式を開いていただき、ありがとうございます。私たち新入生二十一名は、今日から吉川中学校の一員となりました。これから新しい中学校生活が始まると思うと、喜びと希望で、胸がいっぱいです。

中学校では、部活動が始まったり、小学校より勉強が難しくなったりするので少し不安もあります。しかし、困ったり悩んだりしたときは、友達や先生方、家族に相談していきたいと思います。もし困っている友達がいたら、優しく声をかけるようにし、思いやりの気持ちを大切にしていきます。また、みんなで協力して様々な活動や行事を成功させ、楽しく充実した学校生活を送りたいです。

先生方や先輩方、地域みなさんからいろいろ教えていただきながら、これから吉川中学校で精いっぱい頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。